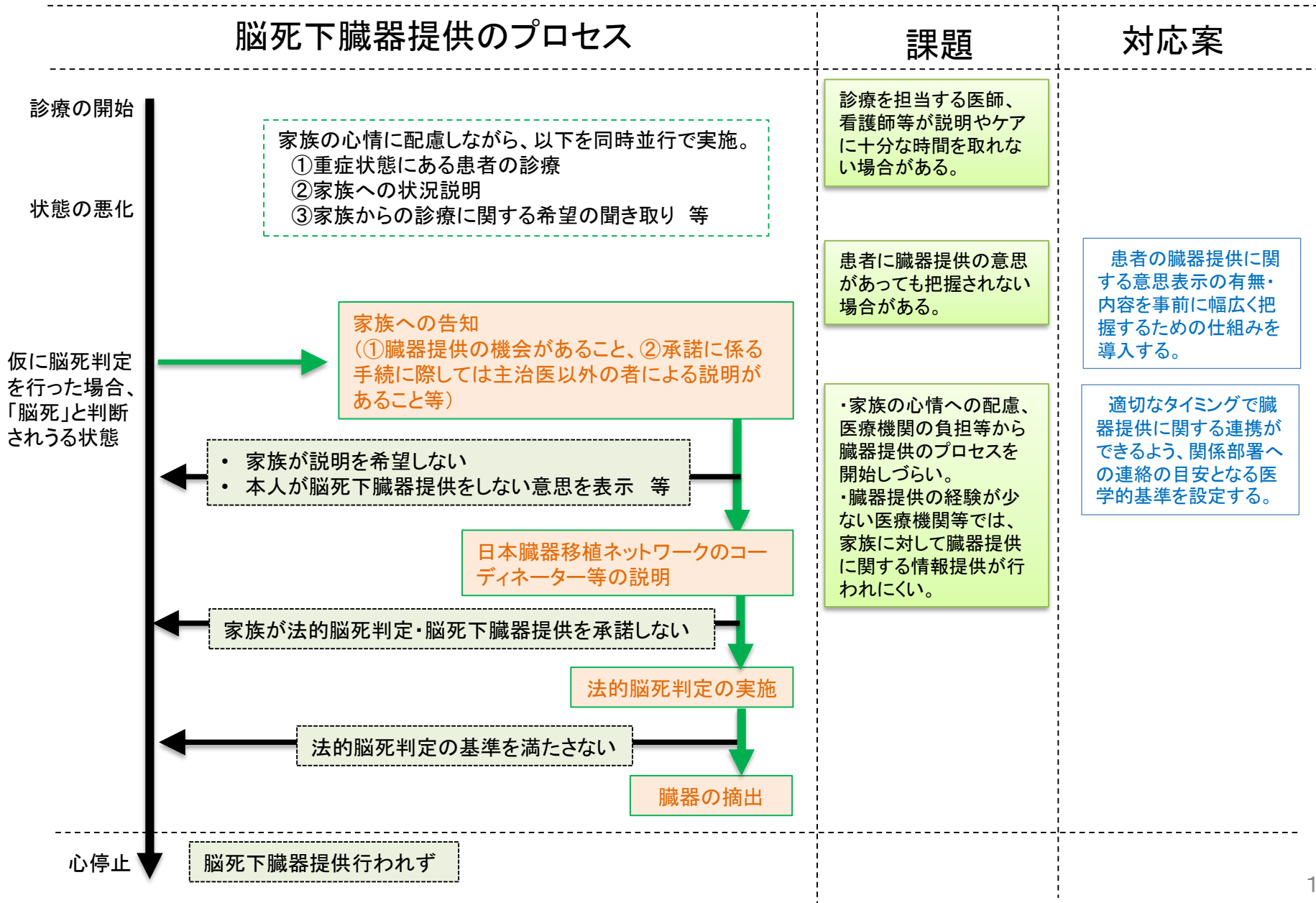


臓器提供に係る環境整備について

医療機関が臓器提供を行う上での課題と対応案



(参考)臓器提供に係る意思表示の現状 ①

問)臓器を提供する・しないといった意思を、いずれかの方法で記入しているか？

総数	記入している(%)	記入していない(%)	わからない(%)
1,911名	12.7	85.2	2.0

問)自分が脳死と判定された場合、また心臓が停止し死亡と判断された場合に臓器提供をしたいと思うか？

臓器提供意思の 記入状況	該当者数	提供したい(%)	提供したくない(%)	どちらともいえない・ わからない(%)
記入している	243名	79.4	11.1	9.5
記入していない	1,629名	36.7	23.1	39.2
わからない	39名	23.1	23.1	53.9

問)家族の誰かが脳死と判定された場合または心臓が停止し死亡と判断された場合に、その方が臓器提供の意思を表示していた場合、その意思を尊重するか？

総数	尊重する (%)	尊重しない(%)	わからない(%)
1,911名	87.4	8.3	4.3

(参考)臓器提供に係る意思表示の現状 ②

問)臓器を提供する・しないといった意思を、いずれかの方法で記入しているか？(再掲)

総数	記入している(%)	記入していない(%)	わからない(%)
1,911名	12.6	85.2	2.0

問)家族の誰かが脳死と判定された場合または心臓が停止し死亡と判断された場合に、その方が臓器提供の意思を表示していなかった場合、臓器提供を承諾するか？

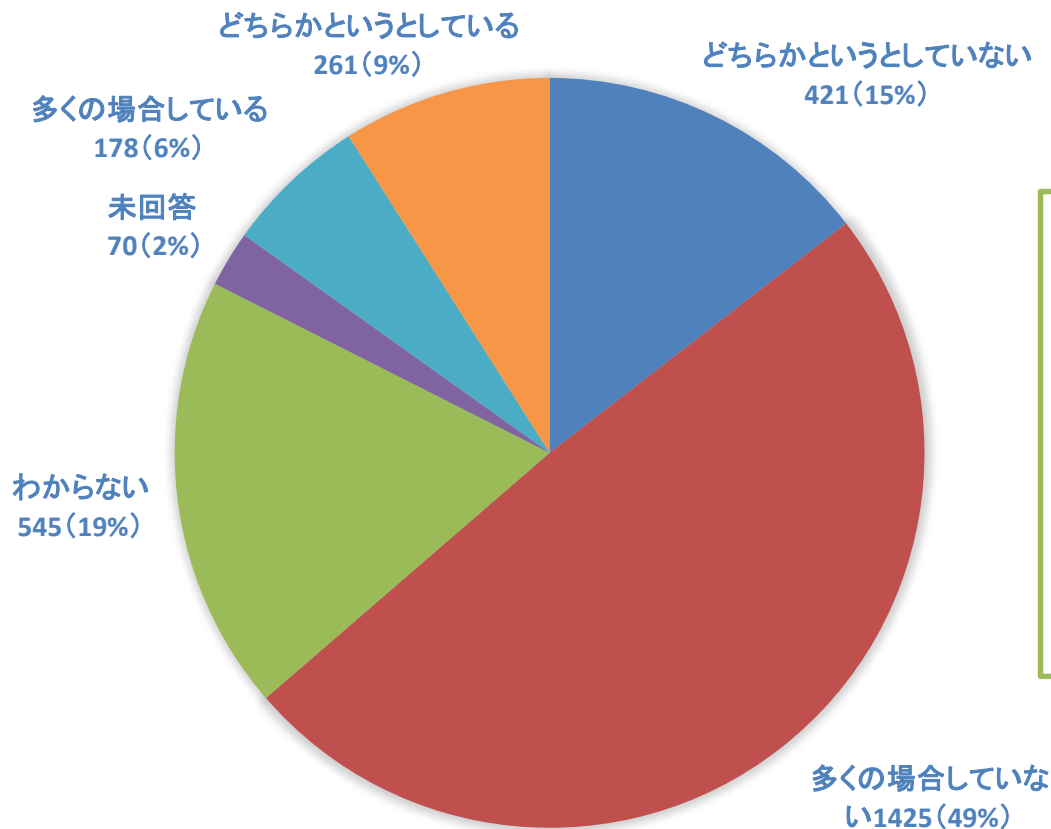
総数	承諾する(%)	承諾しない(%)	わからない(%)
1,911名	38.7	49.1	12.2

平成29年 内閣府世論調査

(参考)臓器提供に関する患者家族への情報提供の現状

対象: 日本臓器移植ネットワークが実施している、院内体制整備支援事業を含む地域支援事業に参加している施設
回答者: 医師 2,900名(75施設)

問: 予後不良である患者の家族に臓器提供に関する情報提供を行っているか?



臓器提供に関する情報提供

1. 多くの場合、情報提供している
+ どちらかというとしている
→15%
2. 多くの場合、情報提供していない
+ どちらかというとしていない
→64%

(参考)臓器提供施設の連携体制構築事業

臓器提供経験事例数が多い施設と少ない施設の連携体制を構築することで、地域における臓器提供体制を充実させることを目的とし、令和元年度より実施している。具体的には、臓器提供経験事例数が多い施設から少ない施設に対し、①人員配置やマニュアル作成のノウハウの共有、②臓器提供事例発生時に医師や検査技師が応援に駆けつける等の支援を行っている。

(令和元年度予算 50百万円)

拠点施設

〈要件〉

- ✓脳死判定できる医師が常勤
- ✓脳波測定できる検査技師が常勤 等



連携施設



〈要件〉

- ✓院内体制整備支援事業を活用して院内体制充実
- ✓院内コーディネーターを配置

〈通常時〉

- ◎連携施設への助言・支援
- ✓連携施設の体制充実への助言
- ✓連携施設と定期的な合同カンファ
(提供事例の共有等)
- ✓臓器摘出時全身管理を行う麻酔科医の育成

〈連携施設での臓器提供時〉

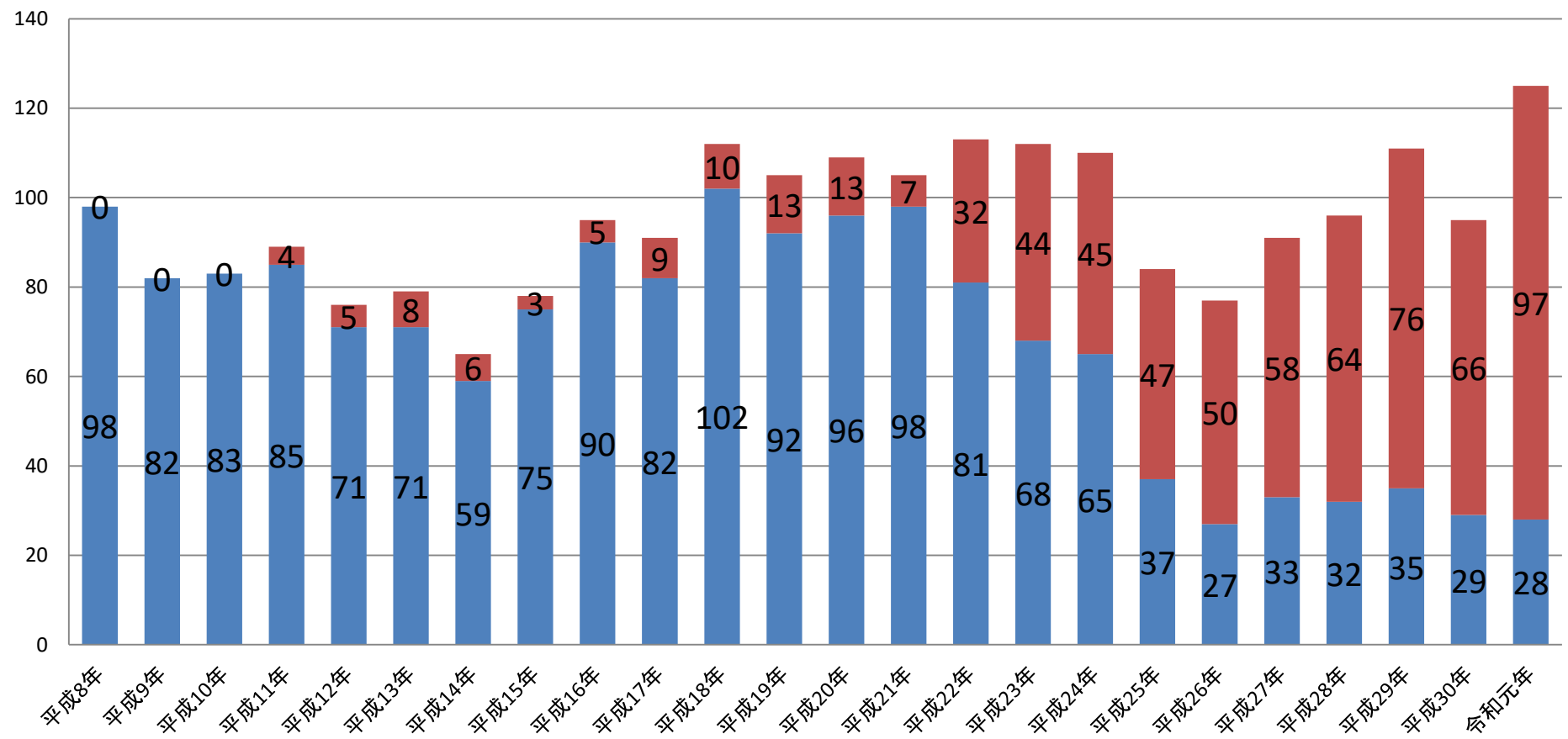
- ✓進行管理の助言
- ✓脳死判定医(技師)の派遣
- ✓臓器摘出時全身管理を行う麻酔科医の派遣

〈拠点施設での臓器提供時〉

- ✓連携施設からの関係者の受け入れ

(参考)臓器提供の件数の推移(年別)

平成9年10月(法施行)～令和元年12月31日までの脳死下臓器提供事例・・・ 662例
 平成22年の改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供事例・・・ 576例
 うち ・本人意思が不明で家族同意のみで臓器提供に至った事例・・・ 456例
 ・15歳未満の臓器提供事例・・・ 35例



■ 脳死(提供可能臓器) 心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓、小腸、眼球(角膜)
■ 心停止(提供可能臓器) 膵臓、腎臓、眼球(角膜)

(参考) 18歳未満の脳死下での臓器提供事例(年別)

